

タウンミーティング「明日のこまき まちづくり懇談会」

各分野における主なご意見

※各分野は説明の都合上分けたものであり、必ずしも後期基本計画の柱になるものではありません。

【安全・安心】

- ・有事の際の連絡ルートがない。安否確認をするための、住民台帳を整備すべきである。(市役所)
- ・近所に雑貨屋が1軒しかない。買い物難民対策を考えていくべきである。(市役所)
- ・ボランティアで被災地へ行った際、被災者から、水とトイレに困ったと聞いた。有事に備え、備蓄を充実しておくべきである。(北里)
- ・伊勢市には防災マップがあり、避難経路等とてもわかりやすかった。区で作成できるよう、支援をすべきである。(北里)
- ・防火水槽が民地にあり、撤去して欲しいという話があるので、市有地での設置を検討すべきである。(東部)
- ・税収を増やすために、保育の拡大や雇用の場の確保など女性が安心して働ける環境を整備すべきである。(味岡)

【誇り・魅力】

- ・イオン本社の代替拠点を小牧に設けるという新聞記事を見たが、市民として誇れることである。(北里)

【活力】

- ・産業を支えているのは中小企業であるため、中小企業の活性化につながる支援をしていくべきである。(市役所)



- ・中心市街地の活性化と言うが、地元住民の買い物先は西春や岩倉である。実態に沿って、そちらへのアクセス利便性を考えるべきである。(北里)
- ・市内企業が市外に出て行かないよう産業に対する支援をすべきである。(東部)
- ・桃花台線のインフラについて、再利用するのか撤去するのか、早く結論を出すべきである。(東部)
- ・巡回バスの終点が小牧駅では利便性が悪いいため、市民病院を経由し、終点を市役所とすべきである。(東部)
- ・公共交通施策は、不満度が高いという理由だけで進めるのではなく、行政ができることと、できないことを区別した上で、具体的なプランをもって進めるべきである。(味岡)

【支えあい】

- ・介護は専門家と地域では役割が違うため、地域介護について、考えていくべきである。(市役所)
- ・合計特殊出生率の1.36が2.0や3.0になるよう子育て支援対策をすべきである。(東部)
- ・障がい児に対する支援が数年前から進んでいない。障がい者就労も含め、対策を充実すべきである。(東部)
- ・暮らしやすい街にしていくために、地域の関わり合いが持てる交流の機会を増やしていくべきである。(味岡)
- ・子どもや老人だけでなく、青年層や壮年層の活性化を図るべきである。(味岡)

【市民力】

- ・総合計画の冊子を各区に提供し、市民が参画する場を設けるべきである。(味岡)

※各ご意見の後の()内は、発言があった会場を示しています。